



Bond BBT MBA 10周年記念 メールマガジン  
(第11号) 2011年8月21日

**Bond BBT MBA 10周年記念 メールマガジン**  
**(第11号) 2011年8月21日**

< 内容目次 >

1. Bond BBT MBA 10周年記念式典関連  
「校旗デザイン」アンケート  
「校歌」アンケート
2. 寄稿「オーストラリアで起業、ビジネスを展開してきた」6期 松久保 朱美
3. 寄稿「Bond MBA で学んだことを海外で活かす」17期 田辺 剛
4. 卒業エッセイ「Bond-BBT 終了にあたって」24期 二澤 泰
5. エッセイ「BOND BBT MBA を修了して今思うこと」19期 有田 哲也
6. エッセイ「10年後の私」2期 窪川 秀一
7. 編集後記

---

**6. エッセイ「10年後の私」2期 窪川 秀一**

---

「元気な道楽爺さん」が私の十年後のイメージだ。このイメージは、16年前に考えたもので現在も同じイメージを持ち続けている。私はゴルフが好きで、自分の人生を4日間のゴルフトーナメントに置き換え、練習ランド(～6歳)、第1ラウンド(7歳～24歳)、第2ラウンド(25歳～42歳)、第3ラウンド(43歳～60歳)、ファイナルランド(61歳～78歳)と区切り、第1ラウンドは「学び」、第2ラウンドは「プロフェッショナル」、第3ラウンドは「快人」そしてファイナルラウンドを「元気な道楽爺さん」というライフプランを16年前(第2ラウンドの終わり)に想定した。

このライフプランは、42歳の時に考えたので、前半は後付けになるのだが、公認会計士として監査法人で10年勤め、33歳で独立し10年近くの時が過ぎた頃に考えたものである。当時、事務所を拡大路線でいくことも考えていたが、一方でパートナーシップ型の事務所パートナーらが自立と共生を図り各自の好きな仕事スタイルでやっていく路線でいくことの方が自分の生き方にあっていると感じている時期でもあった。また、会計の世界だけでなくより広くさまざまな世界に視野を広げ、かつ、「快人」(自らを快い状態に導くことの出来る人)になりたいと思ったのである。そこで、より広くさまざまな世界に視野を広げるのに、留学することの検討を始めた。また、快人になるために、私の尊敬する野口三千三先生が主催する野口体操に再び通いはじめた。

留学を検討する中で、事務所をパートナーシップ型の経営に移行するのに、パートナー各人の業績にもとづく利益配分ルールの確立に数年かかり、2000年に「窪川公認会計士事務所」か



Bond BBT MBA 10 周年記念 メールマガジン  
( 第 11 号 ) 2011 年 8 月 21 日

ら「窪川パートナー会計事務所」に名称を変更するとともに、職員であった二名の税理士には退職してもらい事業者の立場でパートナーとして一緒にやっていくことに賛同してもらい、パートナーシップ型の経営に移行することが出来た。そして当時、BBT による USC の遠隔授業を受講するプログラムが始まり、パートナーシップに移行したことにより時間に余裕が出来たこともあり、受講した。そして、その 1 年後、ボンド大学による MBA 講座が開設され、USC の単位を移行することも出来、Bond- BBT-MBA プログラムに編入した。リアルな留学経験をしたいという思いはあったが、一方で仕事を継続していきながら海外の授業を学ぶことが出来ることは素晴らしいことであった。このようなことが出来るのも IT の進化とこのプログラムを開発した方々のおかげで、このような環境を提供していただけた多くの方々に感謝している。

Bond- BBT-MBA のプログラムの中で出会った方々、そして卒業後出会った方々とお付き合いができることは、私にとって素敵なことである。その出会いなかで、ゴルフやワイン仲間との交流はとても楽しく、「快人」を実感する嬉しい一時である。私は、MBA が終了すると、ワインスクールの事務局長をやっている友人から酒と会食が好きなら是非ワインを学ぶべきだと勧められ、ワインスクールに通い始めた。それから 7 年間さまざまなコースに参加し続けている（それなのにソムリエの資格はなく、ただのノムリエです）。Bond- BBT-MBA の現地での卒業式と一緒にいった野田隆史さん（3 期）が 2007 年にワイン造りの会をつくり、Bond の仲間がその会に参加し、ワイン造りも 5 年目を迎えている。2009 年の夏、野田さんのアレンジでカリフォルニアのナパ・ソノマのワインの旅が行われ、ワイン作りの会の Bond の仲間達も参加し、生涯忘れられない楽しい思い出である。

「快人」の時代は、現在 16 番ホールのティーショットを打ったところで、早いもので後 2 年 9 ヶ月を残すまで経過している。いよいよファイナルラウンド「元気な道楽爺さん」の時代を迎えるのだが、まだ自分としては「爺さん」ではなく「おじさん」のつもりなので、「元気な道楽おじさん」に改めようかと考えている。さてこの「道楽」のイメージは、自分の道を極め楽しんでいきたいというものである。自分もふくめ人々が「快人」となれるように貢献していくことを楽しみながら生涯続けていきたいと考えている。振り返ると「快人」の時代は、視野が広がり、素晴らしい経営者との出会いがあり、さまざまな仕事のチャンスをいただき、また友人と楽しい時を過ごすことができた。快人の時代は、心身に、気持ちと時間を振り向けることに意識を向けることにより、快さを感じる事が出来るようになり満足している。そして、今年はファイナルラウンドに向けて、事務所名を「窪川パートナー会計事務所」から「四谷パートナーズ会計事務所」と変更し、パートナーとイコールパートナーとなり、代表も共同代表にした。10 年先に見える私は、元気に、笑顔で、人に役立ちながら楽しんでいる姿である。

みなさま、どうぞこれからもよろしく願いいたします。



Bond BBT MBA 10周年記念 メールマガジン  
(第11号) 2011年8月21日



[第3回 Bond ゴルフ大会]



[ワインパーティ]